

12月13日(木)実施

WAZA チャレンジ教室

和食の調理に挑戦

ものづくり楽しさを学ぶ

松崎町の県東部特別支援学校伊豆松崎分校で13日、県日本調理技能士会による和食料理教室が開かれた。全校生徒約25人とその保護者らが、卵焼きと鶏のくわ焼きの調理に挑戦した。

子どもたちが一流の技に触れ、ものづくりの楽しさを学ぶ「WAZAチャレンジ教室(県主催)」の一環。講師は同会員で伊豆半島のホテルや料理店などで腕を振るう一流の料理人ら。参加者は講師の手ほどきを受けながら、慣れない手つきで卵焼きのフライパンを返したり、肉の焼き加減を手エックしたりした。完成した料理は昼食で味わった。3年の中野温大さん(15)は「普段はあまり料理しな

東部特別支援学校伊豆松崎分校



講師(中央)の手ほどきを受けながら、調理に挑戦する生徒＝松崎町の県東部特別支援学校伊豆松崎分校

いので楽しかった。自分で作る食事は格別」と笑顔を見せた。猪爪康之会長は「体験が食に興味を持つきっかけか

(松崎支局・市川幹人) けとなり、料理人を目指すきっかけになればうれしい」と話した。料理に親しんでもらおうと、同会は生徒全員にこの日使用したフライパンをプレゼントした。